

## 令和元年度学校教育自己診断アンケートの分析

### 1. 回答数と回答率

生徒の回答数 566(回答率 96.6%)、保護者の回答数 425(回答率 72.5%)、教員の回答数 54(回答率 100%)であった。

本年度は、各比率(%)は総数から算出(昨年度5わからないを総数から省いていた)。以下、肯定的回答とは回答1(そう思う)・2(ややそう思う)の合計の数値(%)で、否定的回答とは回答3(あまり思わない)・回答4(思わない)の合計の数値(%)である。また、△は前年度と比べ増えている場合、▼は減っている場合であり、数値はそのポイント差を表します。

### 2. 学校生活全般(生徒指導含む) — 生徒1、2、13、保護者10、11、教員3、4

生徒の肯定的回答が「1学校に行くのが楽しい」60.7%(△4.5)、「2学校は生徒の意見をよく聞いてくれる」の46.9%(△11.4)、「13学校生活についての先生の指導には納得できる」が41.3%(△6.7)、保護者の「10生徒指導面で、学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的にきめ細かく行っている」が48.8%(△2.0)であった。ここ数年上昇の傾向にあることが数字に表れ、今後の励みにしたい。ただ、回復傾向にあるがまだまだ低い数字であるので、努力をおしまないよう肝に銘じたい。しかし、「4学校は教育活動全般について、生徒や保護者の願いに応えている」が68.6%(▼11.0)と下がっており原因究明にあたりたい。

### 3. 学校の基本姿勢 — 保護者1～4

「1学校は教育方針をわかりやすく伝えている」の肯定的回答は57.8%(△2.5)、「2学校は教育情報について、提供の努力をしている」は60.6%(△1.5)、「3学校は保護者の願いにこたえている」は54.4%(△1.3)、「4学校は保護者の相談に適切に応じてくれる」67.0%(△1.8)であった。昨年度は全てにおいて減少していたが、本年度は全てにおいて上昇しているので、ある程度、理解と評価を得ていると考えられる。

### 4. 授業について — 生徒3～5、16、保護者7、8、教員5～10

生徒の肯定回答が「3授業がわかりやすく楽しい」が46.9%(△11.4)、「16複数の先生が入った授業やクラス人数を半分にした授業など少人数展開の授業はわかりやすい」の57.2%(△9.1)と大きく上昇している。しかし、保護者の「7子供は授業がわかりやすく

楽しいと知っている」44.2%( $\Delta 2.6$ )、と上昇しているが、まだまだ低い数値である。また、生徒の「5 学習の評価は、テストの得点と、提出物、授業の態度、出席状況など生徒の努力や授業に取り組む姿勢を含め行われている」が59.7%( $\Delta 1.9$ )、保護者の「8 テストの得点だけでなく、いろいろな面から学習の評価を行っている」が66.9%( $\Delta 2.0$ )、や教員の取り組みとしても「6 少人数指導を取り入れるなど、指導方法の工夫・改善に努めている」92.2%( $\Delta 5.2$ )をはじめ、「5 各教科において教材の精選・工夫を行っている」86.3%( $\nabla 2.2$ )、「9 生徒の実態をふまえ、体験参加型の学習を行うなど、指導方法の工夫・改善を行っている」が80.4%( $\Delta 4.5$ ) 「10 到達度の低い生徒に対する学習指導について、全校的課題として取組んでいる」80.4%( $\Delta 13.7$ )と高い実施率がある。しかし、已然として生徒の「4 家庭で宿題、復習、予習など学校の勉強をしている」の23.8%( $\Delta 2.2$ )やと低く、学習面での達成感や学習意欲の表れに乏し現状が浮き彫りとなっている。めざす授業像である「わかる」「できる」「おもしろい」授業の実現にむけて、教員は再々度、その成果が反映し成果が現れるようにあきらめず日々努力していく必要がある。

#### まだ 5. 学校行事について — 生徒 9、保護者 14、教員 20

生徒の肯定的回答率が「9 文化祭、体育祭、修学旅行等の学校行事は、楽しく行えるように工夫されている」が58.9%( $\Delta 6.3$ )と増え、保護者においても「14 学校行事に子どもは積極的に参加している」は73.1%( $\nabla 5.1$ )高いポイントとなっている。一方、教員の「20 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている」は72.5%( $\nabla 9.0$ )と3年連続で減少している。

#### 6. 生徒会活動と部活動について — 生徒 10~12、保護者 15~17

生徒の「10 生徒会活動に関心を持って積極的に参加している」の肯定的回答が29.7%( $\Delta 9.4$ )、「12 自分としては、部活動に積極的に取り組んでいる(取り組んでいた)」38.0%( $\Delta 0.8$ )、と生徒会活動や部活動を行っていない生徒の意識は非常に低い現状がある。保護者の「15 生徒会活動は活発である」は43.5%( $\nabla 0.5$ )、「16 部活動は活発である」30.7%( $\nabla 4.6$ )とともに低い。また、生徒の「11 学校は部活動が活発になるよう、積極的に取り組んでいる」30.6%( $\Delta 0.9$ )も低く、生徒会活動と部活動に関しては途方に暮れている現状である。だが、高い回答率になるように学校全体でより一層の取り組みを行いたい。

#### 7. 人権尊重などの教育について — 生徒 14, 15, 17、保護者 18~22

生徒の肯定的回答が「14 学校や社会のルールについて学ぶ機会がある」が56.4( $\Delta 7.5$ )、「15 命の大切さや人権について学ぶ機会がある」が70.5%( $\Delta 11.7$ )と3年連続増加している。より一層の人権教育を行い浸透出来るよう取り組みたい。

保護者の「19 学校は、子どもに生命を大切に作る心や社会のルールを守る態度を育てようとしている」が 51.7%(△0.1)、「18 学校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った生徒を育てようとしている」が 38.7%(▼3.4)、「20 学校は、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている」が 46.6%(△0.7)、「21 先生はすべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導にあたっている」が 47.7%(△0.9) と、昨年度より下がっている項目もあるが、各項目と共に回答番号 5 わからないの回答が「19 が 30.7%、20 が 33.3%、21 が 32.5%、22 が 25.9%あり、その点を鑑みある程度学校の人権教育に関する取り組みを評価して頂いていると考える。また、生徒の肯定的回答「17 成績などの内容についてプライバシーが守られている」が 62.0%(△9.7)、保護者の「22 学校では子どもに関する個人情報を守られている」が 62.9%(▼2.3)と、若干減少しているがある程度の肯定的回答を得ており、プライバシー保護の取り組みについては生徒、保護者ともに評価されていると考える。

#### 8. その他 — 生徒 19、保護者 27

- ・施設設備に関する項目において、生徒 19・保護者 27 と共に「学校の教室など施設・設備はよく整備されている」の肯定的回答が各 35.6%(△1.3)、37.6%(▼1.4)と低く、「大阪府立島本高等学校を支援する会の援助」も活用し早急な改善に努めなければならない。

#### 9. 教員によるアンケート結果より

・昨年度は全 49 項目において①肯定的回答ポイントを一昨年度と比べると 34 項目で減少しており②大幅な減少(10 ポイント以上)も 15 項目あった。今年度はその反省を踏まえ色々な取組を行い改善を行い、①が 19 項目②が 2 項目に減った。さらに「10 到達度の低い生徒に対する学習指導について、全校的課題として取り組んでいる」が 80.4%(△13.7)、「24 教育活動において、生徒に社会規範や市民道徳を守る意識が育まれる機会をつくるよう配慮している」78.4%(△13.6)、「27 同和問題や在日外国語問題などの人権問題を正しく理解し、差別や偏見のない社会をめざす主体的な生き方につながる学習となるよう工夫している」が 78.4%(△21.0)、「32 学校運営に教職員の意見が反映されている」78.4%(△21.0)、「49 いじめ(疑いも含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる」76.5%(△20.9)、など回復できたものもある。

- ・「33 教職員の適性・能力に応じた構内人事や公務文章の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある」の肯定的回答が 39.2%(▼7.1)、42 初任者等、経験の少ない

教職員を学校全体で育成する体制がとれている」33.3%(▼9.3)と2年連続ポイントが減少している。このことは、教員の多忙な業務に追われる事が浮き彫りになっている事が伺え、現在、校務の削減・改良に向けて取り組んでいるところである。